

船橋市議会議員

立憲民主党



みつはし

三橋さぶろう

議会活動報告

大災害に備える

東日本大震災から12年が経過しました。3月11日の14:46には私も当時を思い出しながら、犠牲となられた方に対し哀悼の意を表し黙とうを捧げました。当時、私はまだ国会議員秘書。議員と共に被災地に行くこともありました。現地で見えた光景はいまだに鮮明に覚えています。

その後、船橋市議会議員となり、この東日本大震災の経験を元に船橋市の防災対策について政策を提言し実現をしてきました。最初に取り組んだのは「ヘリサイン」の設置です。東日本大震災のとき、各方面からヘリコプターが災害支援に来ましたが、津波に流された街は上空から見ると目標となる建物が無く活動するのが困難でした。そこでヘリコプターが、迅速かつ確実に目的地に辿りつくために、上空から視認できるように施設名を屋上等に表示したものがヘリサインです。東京や神奈川では設置が進んでおりましたが千葉県は全く進んでいなかったため、野田剛彦県議にもご協力いただいて県の防災事業補助金の対象項目にしてもらい千葉県下でヘリサイン整備を進めました。現在、船橋市内に33か所設置されています。

三橋さぶろう プロフィール

- 1978年 長野県木島平生まれ(44歳)
- 2002年 中央大学商学部卒業
株式会社カネボウ
江東区健康スポーツ公社
- 2008年 衆議院議員 野田佳彦秘書
- 2011年 衆議院議員 若井康彦公設秘書
- 2015年 船橋市議会議員選挙 初当選
- 2019年 2期目当選
- 特技: クロスカントリースキー
1998年長野オリンピックボランティアスタッフ
2002年ソルレイクシティ・パラリンピック日本代表コーチ
- 船橋市消防団20分団2班 所属
- 好きな言葉: 出来ることからコツコツとやる
- 家族: 妻と特別支援学級に通う息子(小学生)、娘(幼稚園)の4人家族
- 趣味: 子どもと散歩、晩酌、猫の動画

(表面から)

次に取り組んだのは避難所となる学校のトイレの洋式化でした。東日本大震災や熊本地震の時も高齢の方や、足腰に悩みを持つ方が和式トイレを使用するのに苦労したそうです。2015年時点では市内の小学校、中学校の洋式トイレは全体の約3割しか無く、ほとんどが古い和式トイレでした。そこで学校トイレの洋式化を強く要望してきました。

避難所のトイレが使いやすくなることは、普段使用している児童生徒にとっても快適になります。また経済面から見ても洋式トイレに変更する必要性がありました。和式トイレの場合1度水を流すと約15ℓも必要としますが、最新の洋式トイレの場合は約5ℓで流せるそうです。単純に考えても上下水道代が約3分の1に節約できます。使用する水が少ないことは環境の負担も減ります。いま市内の小中学校のトイレは大半が洋式トイレになりました。

この他にも災害対策について色々取り組みましたが、現在、災害対策として研究しているテーマは「コミュニティ放送局」です。災害時に頼りになるのはラジオです。しかし一般的なラジオ放送局は広域で放送しているため、船橋市の災害情報だけを放送してくれるとは限りません。そこで地域密着型のFMラジオ局があれば船橋市と協力して、災害時に様々な情報を発信できる可能性があります。実際にコミュニティ放送局が災害時に活躍した事例がいくつもあります。平時は船橋に密着した情報発信をして地域活性化にもつながるのではと感じており、現在は調査中です。

ポスター掲示のお願い

『野田よしひこ』衆議院議員と『三橋さぶろう』のポスターを作製しました。ご自宅や所有地の壁などに掲示していただける方は下記までご連絡ください。



船橋市議会議員 三橋さぶろう

〒274-0063 船橋市習志野台2-4-13 ネスト12 101
電話：047-402-2810 FAX：050-3488-3190
E-mail：funabashi@mituhashisaburo.jp

事務所にお越しの場合は、あらかじめご連絡いただくと助かります。